

奥日光市道 1002 号線におけるモバイルカリングの結果（平成 27 年春・速報）

栃木県林業センター

1. 目的

奥日光地区において生態系被害を及ぼしているシカの個体数削減

2. 実施主体

栃木県林業センター・日光地域シカ対策共同体（日光自然環境事務所、日光森林管理署、日光市、栃木県西環境森林事務所、栃木県林業センター）

3. 実施日時

平成 27 年 4 月 20 日（月）～24 日（金） 各日 16 時より 18 時 25 分まで

4. 実施区間

市道 1002 号線弓張峠～千手ヶ浜間 4.8km

5. 方法

- ・モバイルカリング（射手を乗せた車両で走行し、シカ発見時に停止して射撃を行う）による
- ・事前に 10 ポイントで餌付けを実施
- ・出没個体の全頭捕獲のため、5 頭以内の出没時のみ発砲対象とし、
正確な射撃能力を有する射手により頭部狙撃を行い即倒
- ・別に回収車両が随行し、捕獲個体を回収
- ・捕獲実施中は、実施区間の市道や歩道は通行止め
- ・日光市が実施する有害鳥獣捕獲の一環として実施



6. 結果

実施日	総出没数	発砲対象数※1	発砲数(発)	捕獲数	逃走数※2	所要時間(分)	捕獲効率(頭/時)	捕獲内訳(成獣)		捕獲内訳(幼獣)	
								オス	メス	オス	メス
4/20	61	34	21	14	20	119	7.1		13	1	
4/21	36	30	24	15	15	139	6.5	3	9	2	1
4/22	27	21	15	11	10	117	5.6	1	8	1	1
4/23	14	5	5	3	2	126	1.4	1	2		
4/24	21	13	5	4	9	127	1.9		4		
計	159	103	70	47	56	628	4.5	5	36	4	2

※1 総出没数のうち、発砲を行った対象数（発砲後に 6 頭以上であることが判明したグループを含む）

※2 ※1 のうち、逃走した数

7. 考察

- ・捕獲効率 4.5 は、昨年春に実施した値(7.7)よりは減少
- ・後半 2 日間の出没数が減少傾向
- ・捕獲個体の大半をメス成獣が占めており、出産個体の減少の点で駆除効果が大